







婚約した俺たちは

細めの指輪を
チョイスし
裏側には二人の
名前を彫った

人生最高の
プレゼントをした



ただいま

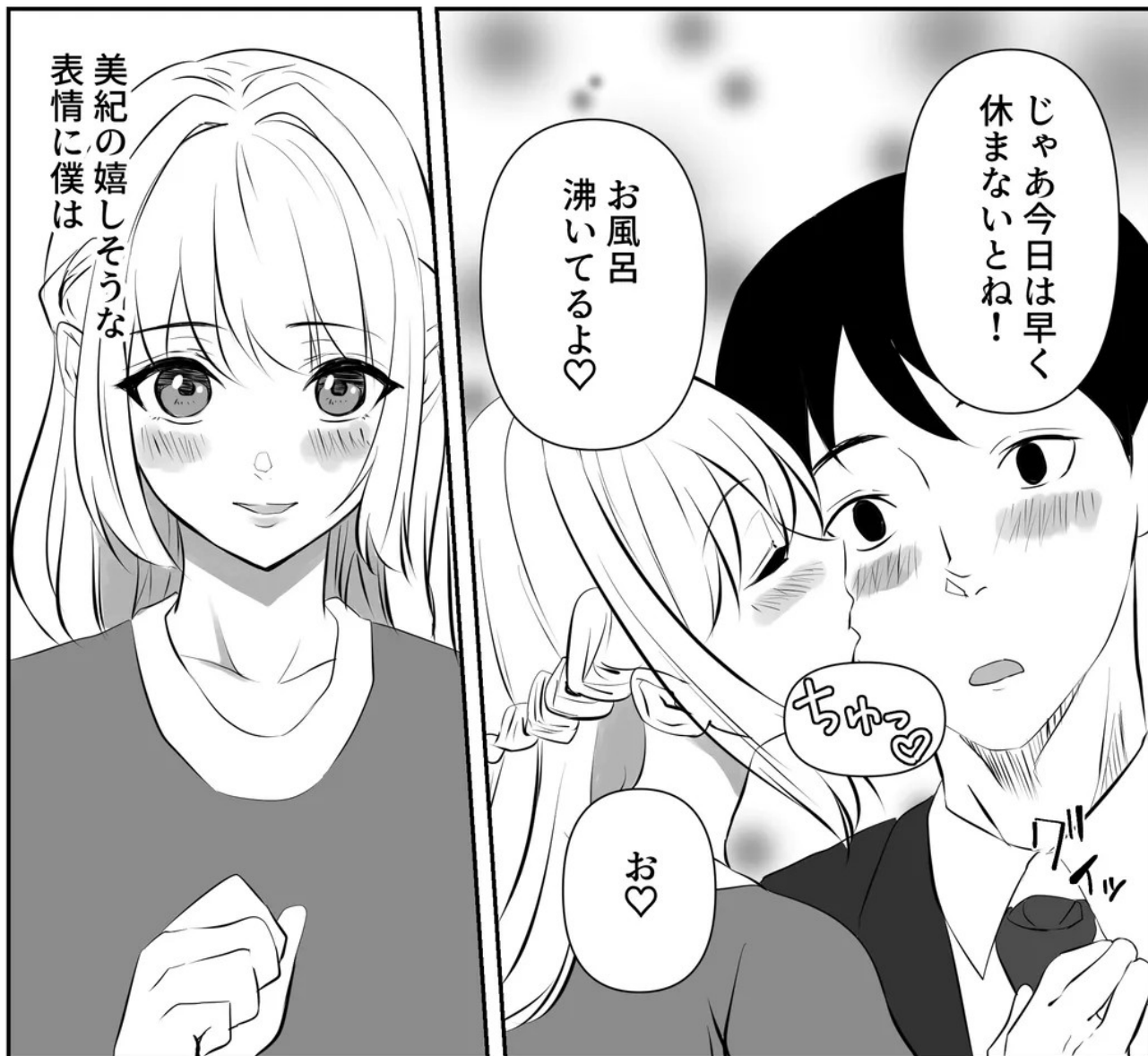
あ、おかえり
なさい♡

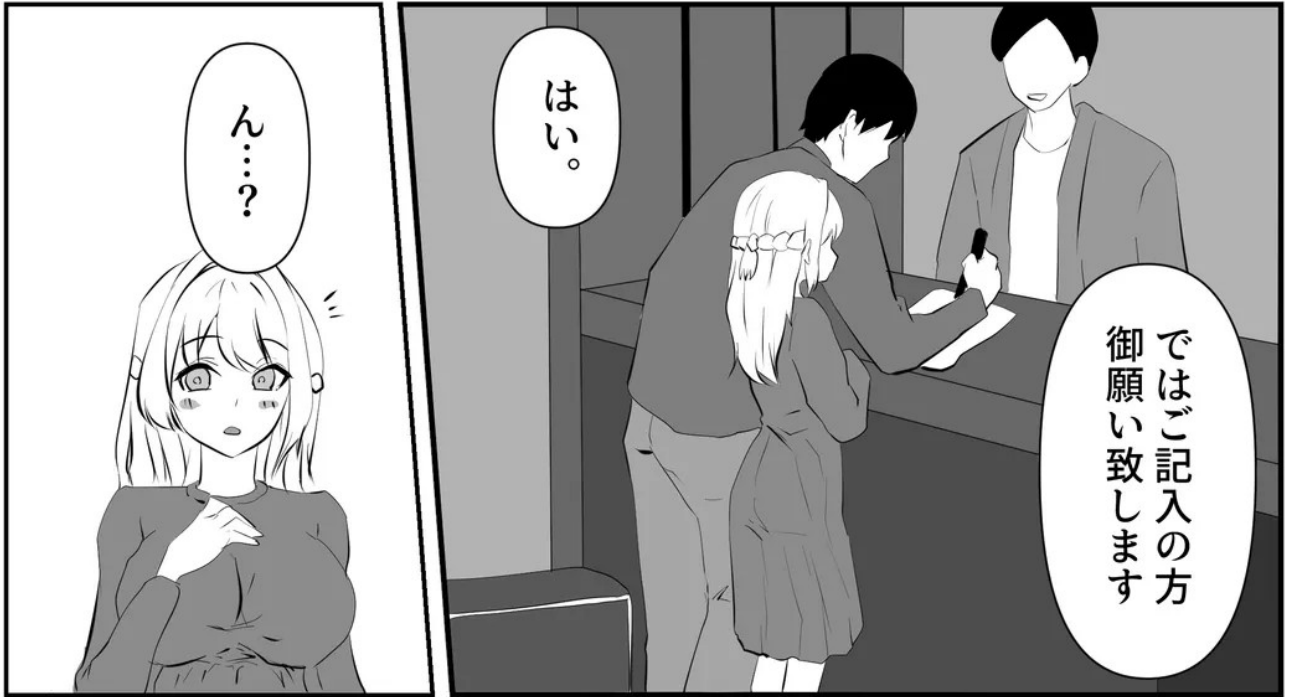
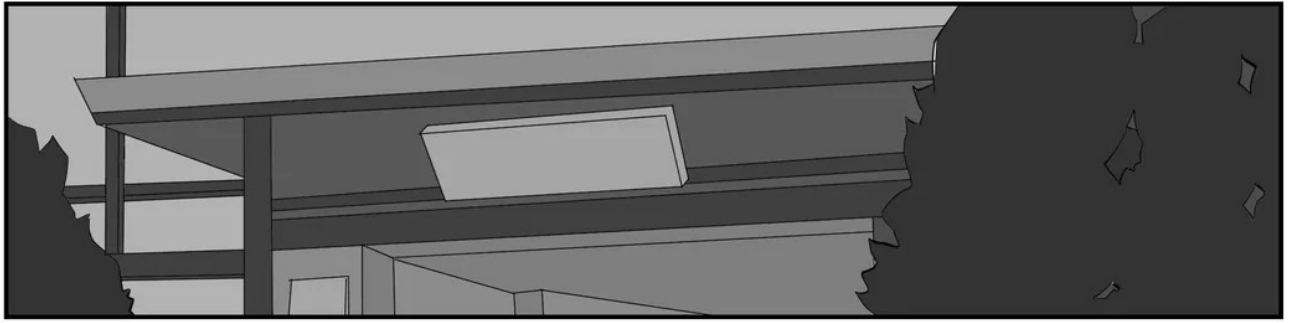
いつもお仕事
お疲れ様です♪
明日で結婚一年ね

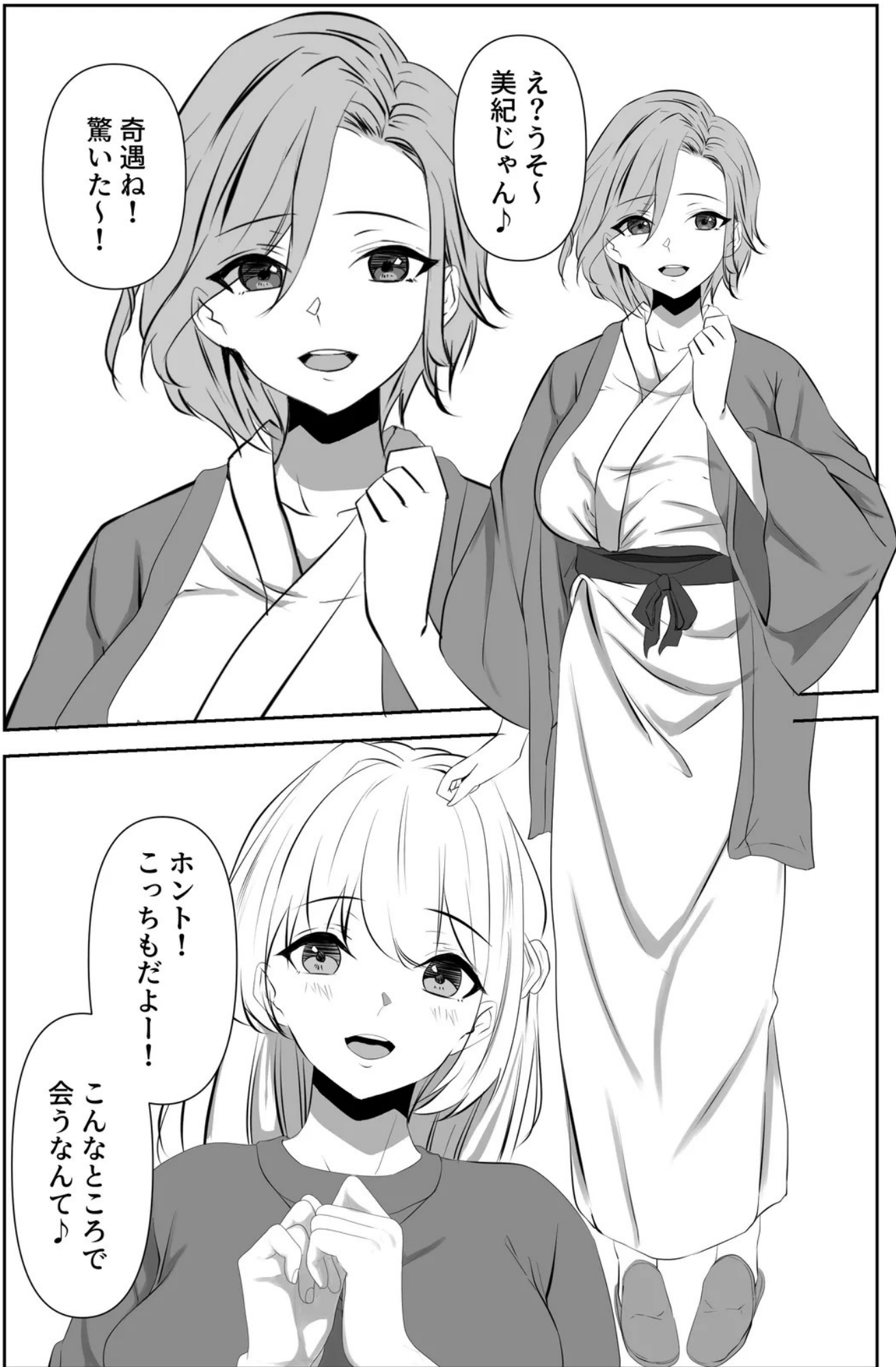
うん♪明日さ
休み取れたから
良い感じの旅館を
とったよ!

え!

嬉しい!!







奇遇ね！
驚いた〜！

え？うそ〜
美紀じゃん♪

ホント！
こっちもだよー！

こんなところで
会うなんて♪

彼女は美紀の
職場の同期

まさか！
彼氏と？

まさか！
一人よ

美紀の方は
夫婦旅行でしょ？

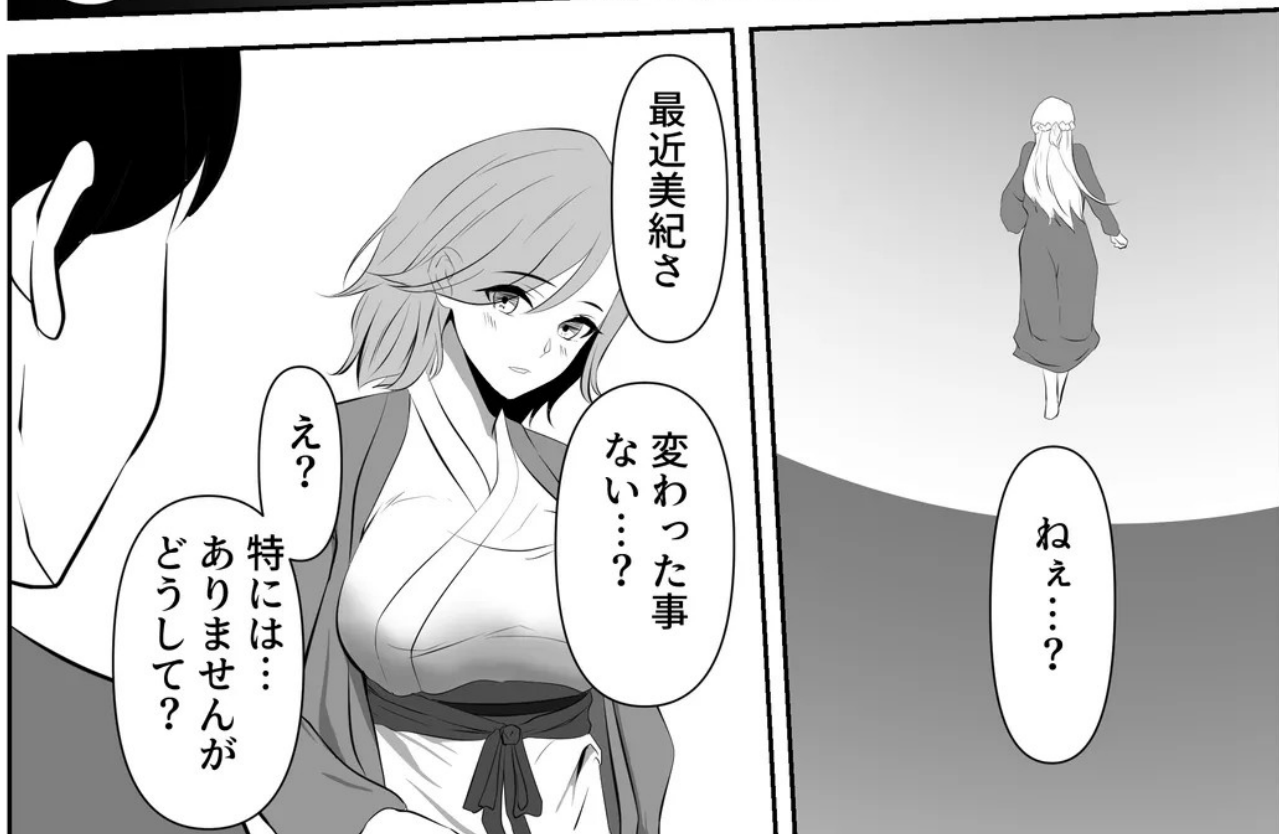
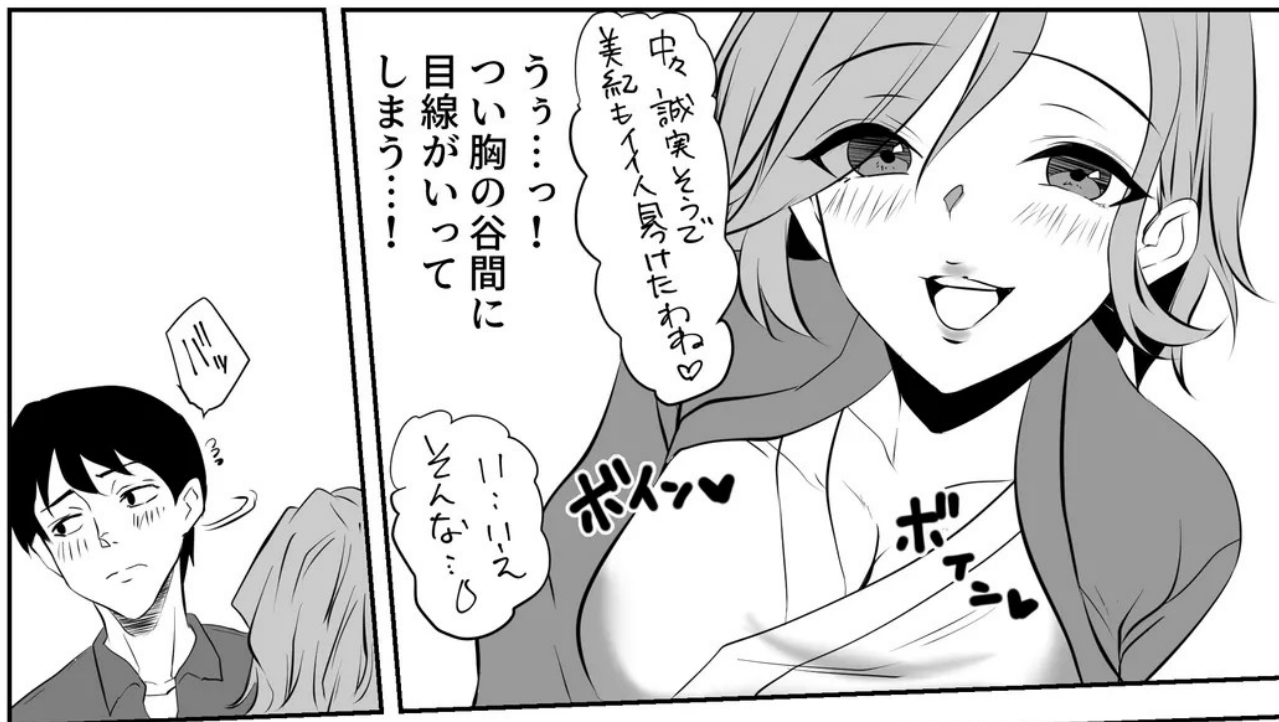
男なら誰しもが
二度見してしまう程
美人で綺麗なんだ

そう！
今日から2泊
するの！

良いわね！

はじめまして
いつも妻が
お世話になってます…

私は瑞稀
宜しくね！





年下だが優秀でスピード昇格し
会社からも期待されている
エリートな人が…

そんな人が…
美紀と…

その後は縁もあり
瑞稀さんと

連絡を交換し
その場を後にした

その後も僕の心は
モヤモヤが抜けず
夕食もまともに
食べれなかった…。

それを見透かしたかの
ように連絡が来た

新着メール

瑞稀です。

亮君？さっきは変なこと言って
ごめんなさい
その後、美紀と櫻田専務の事で
分かった事があったの…。
私の部屋に来てくれない？
部屋の番号は……

瑞稀さんから
だった……。。

わざわざ
呼び出すなんて

一体…
なんの事なんだ

こんな格好で
ごめんね…

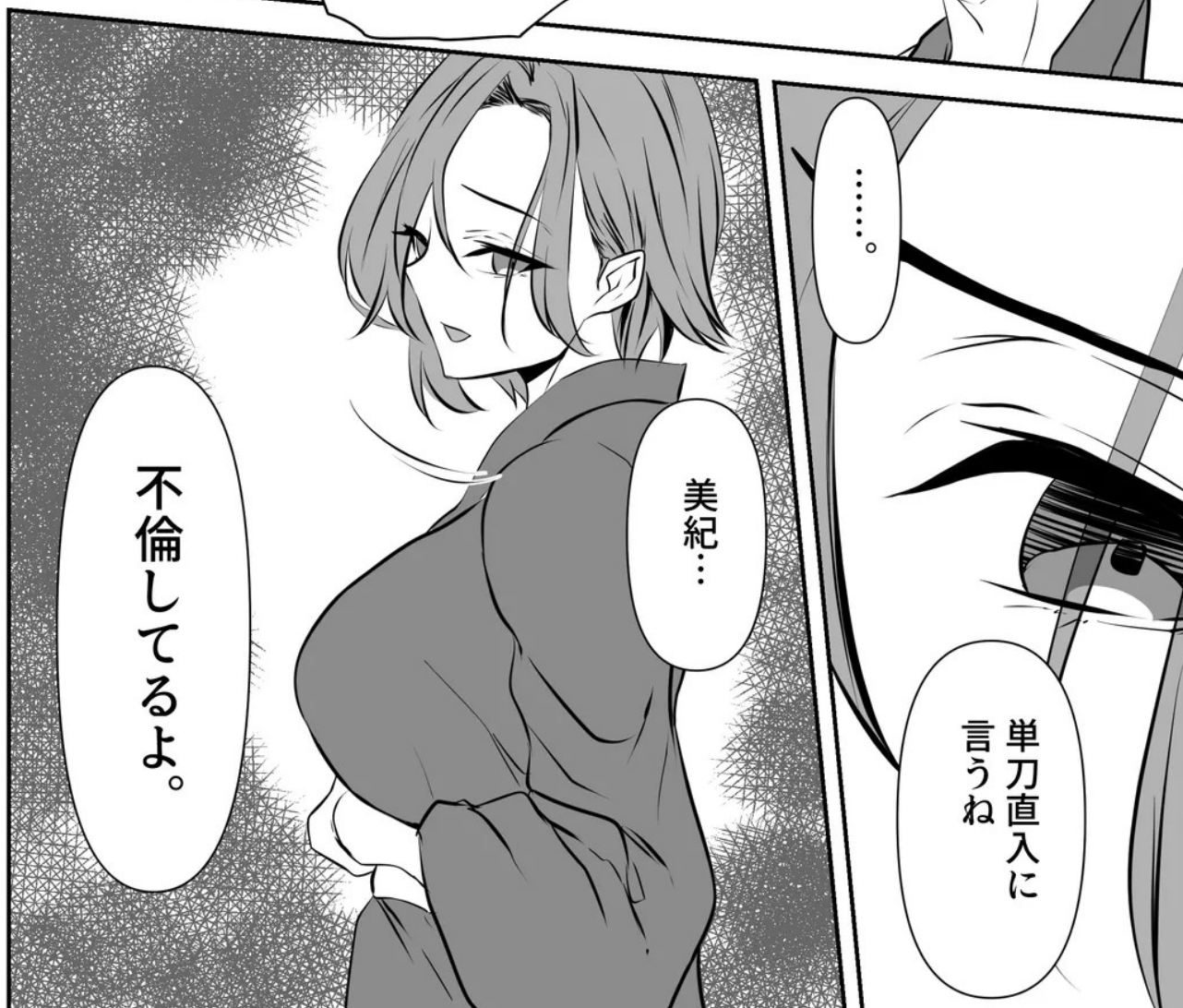
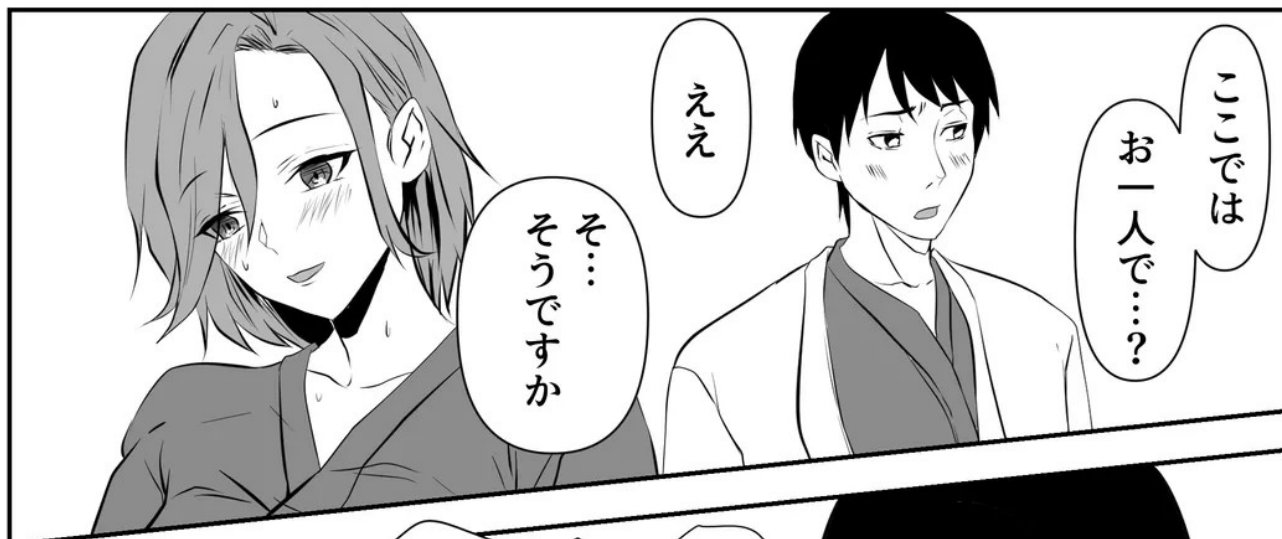
さっきまで
温泉に行ってたの…

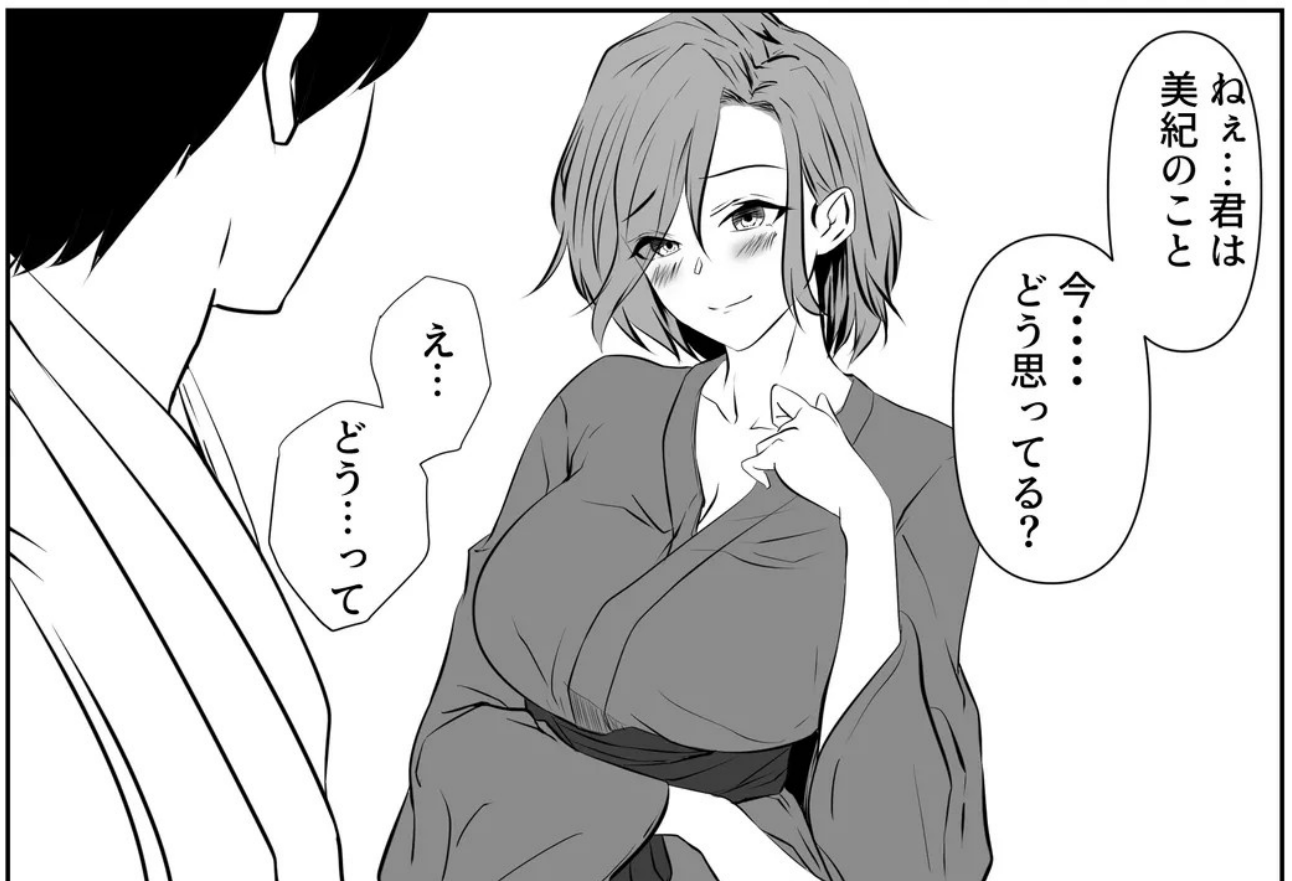
は…はい…

あー！
見たでしょ？

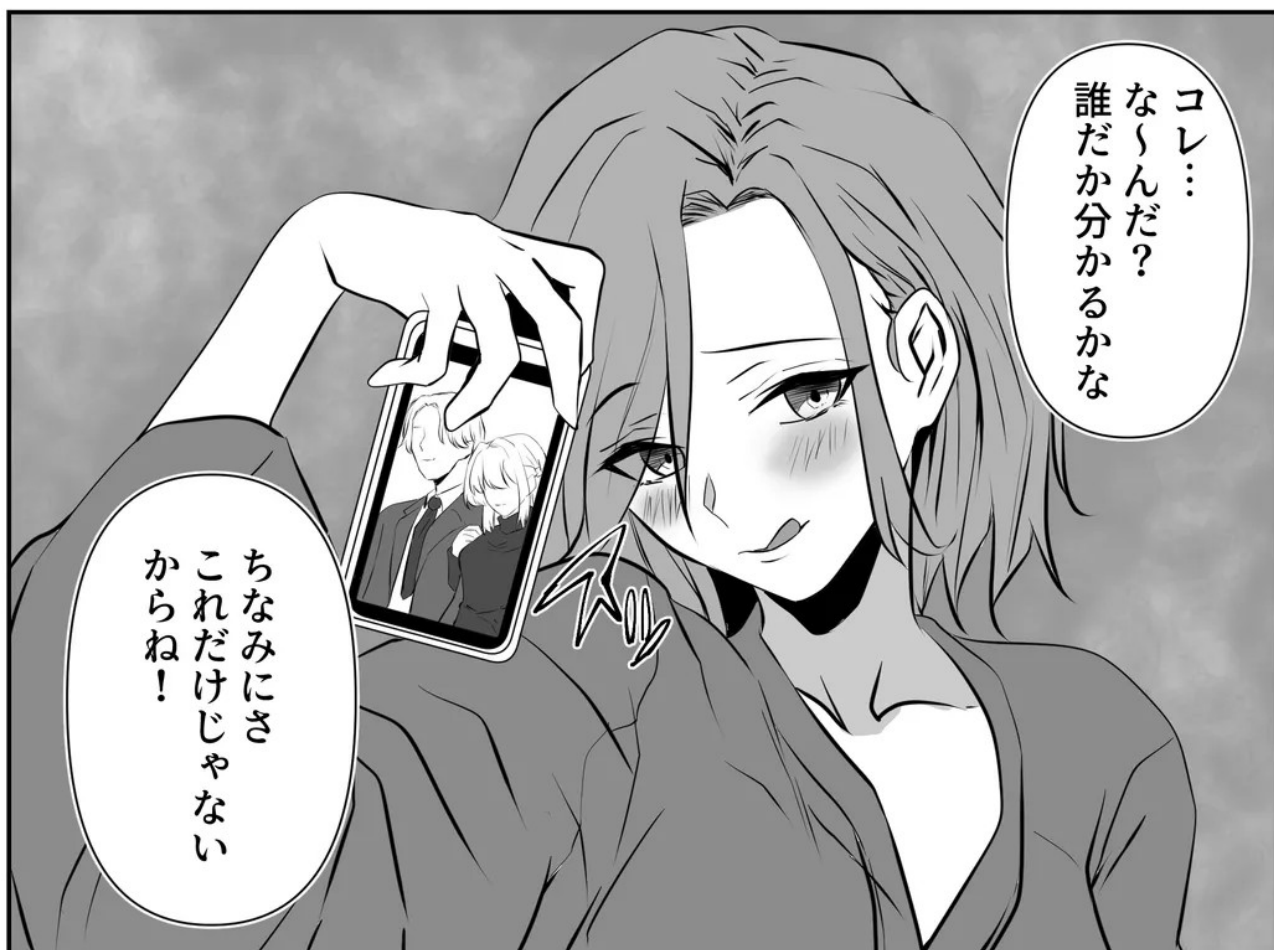
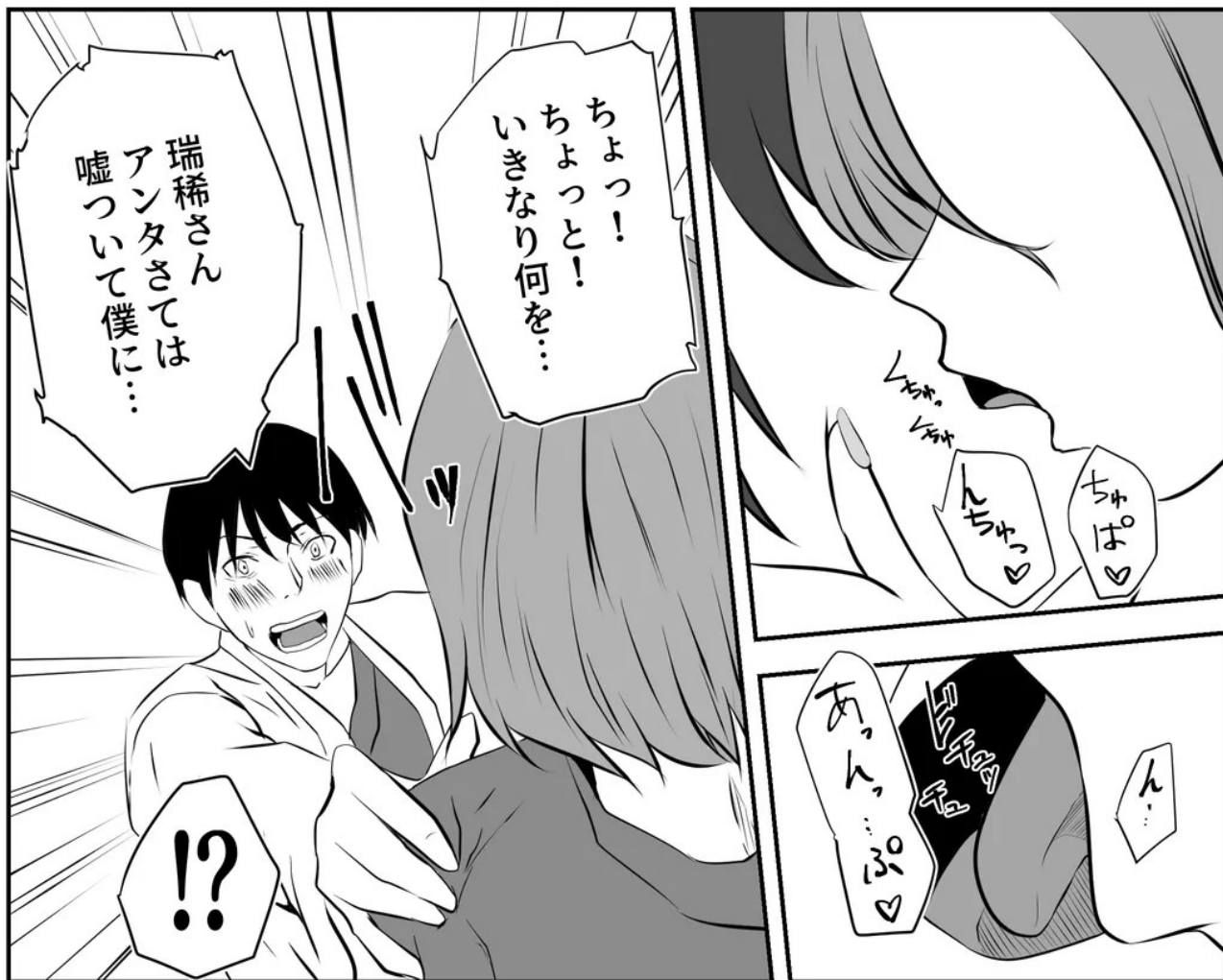
っ！す…っ
すみません！
はい！
ごめんなさい













この日は中々
寝付けなかった

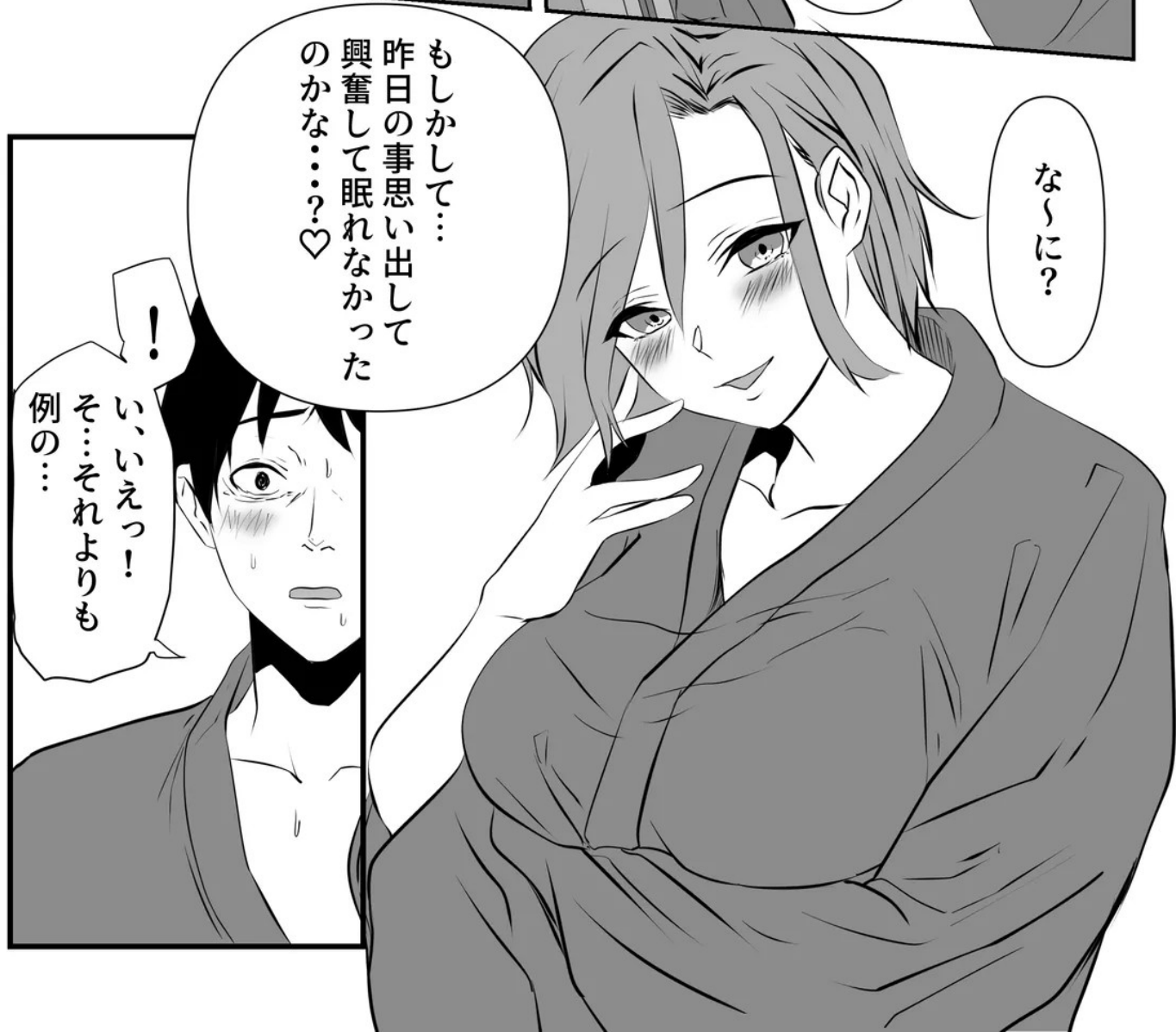
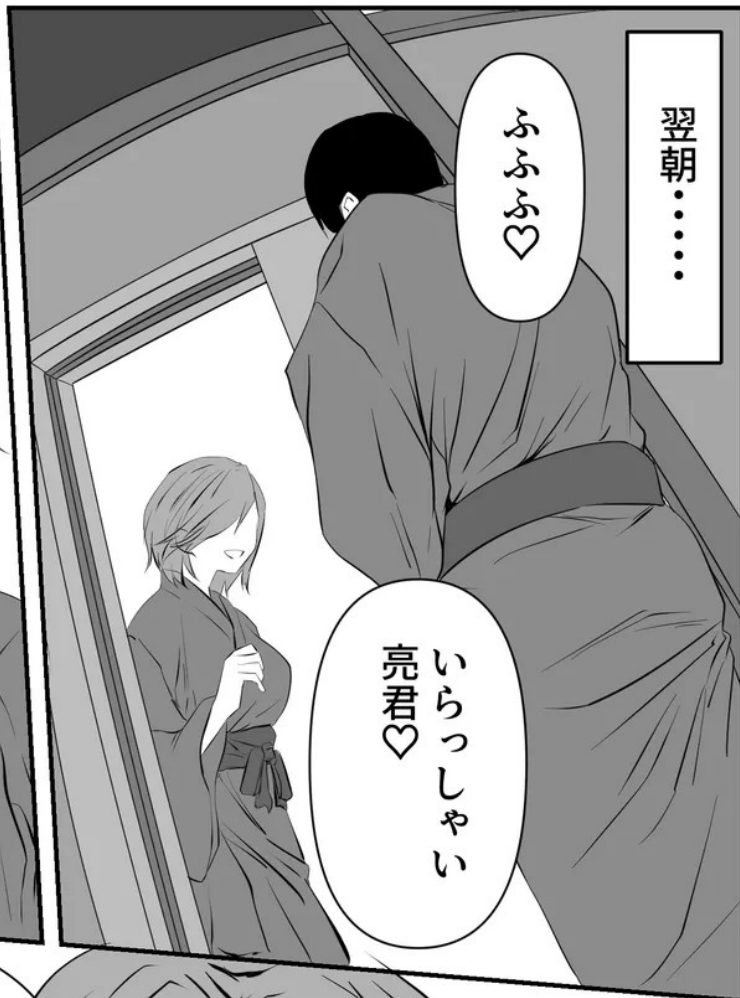
色々な感情が
僕の目を冴えさせる

そして…瑞稀さんへの
射精…

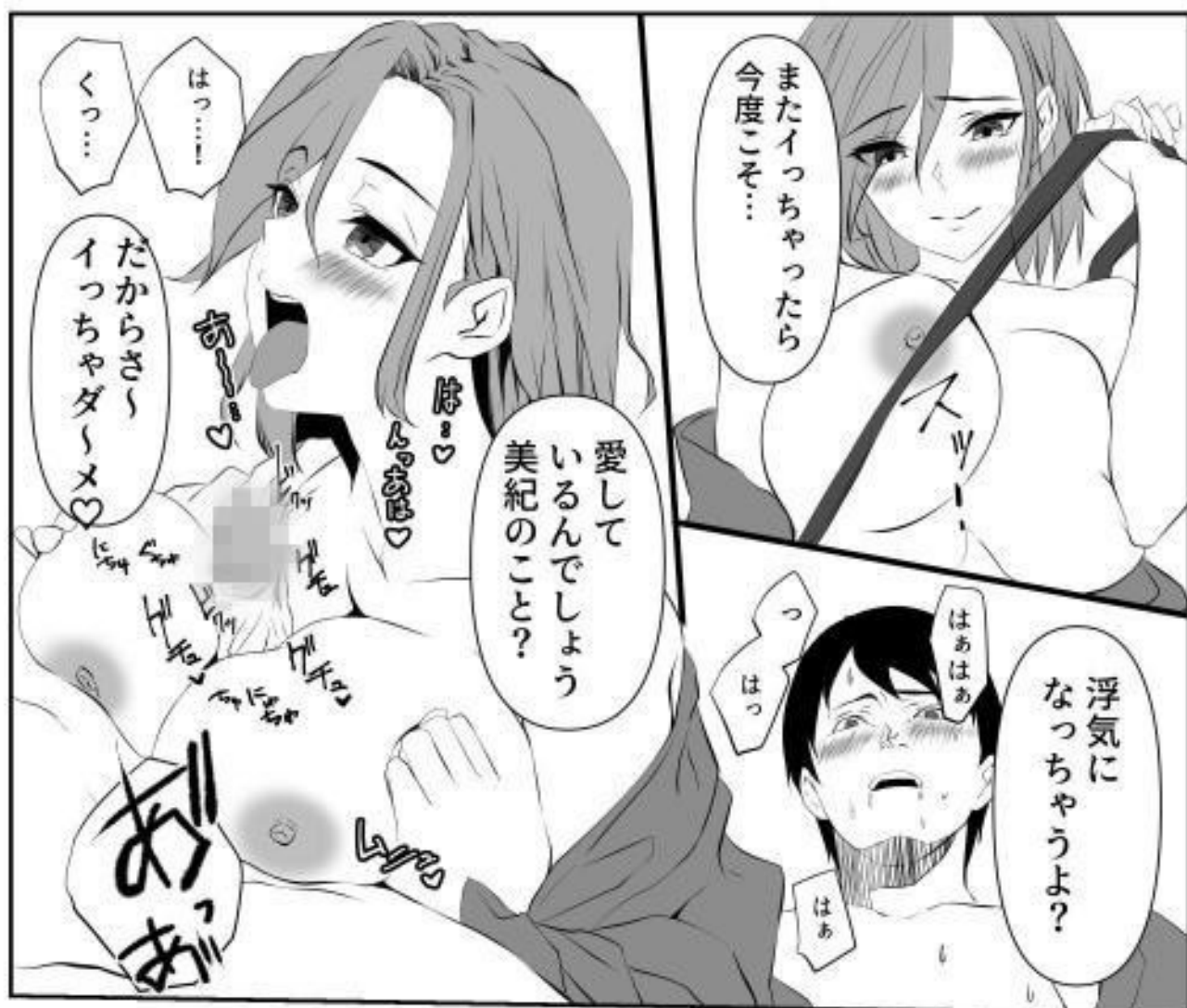
あの人は一体…

明日の朝…か。

美紀と櫻田専務…
続きの写真って…
まさか…

























……亮くん

はあ…

！…助けて

はあ…

櫻田専務の
おチンポが気持ち
良い…です

あなたの

チンポ…じゃ
満足…出来ない

…挿れてください

！…このままだと私

！…助けて





おおっ…
すげえ締め付け…
ククク…

最高だわ…

美紀





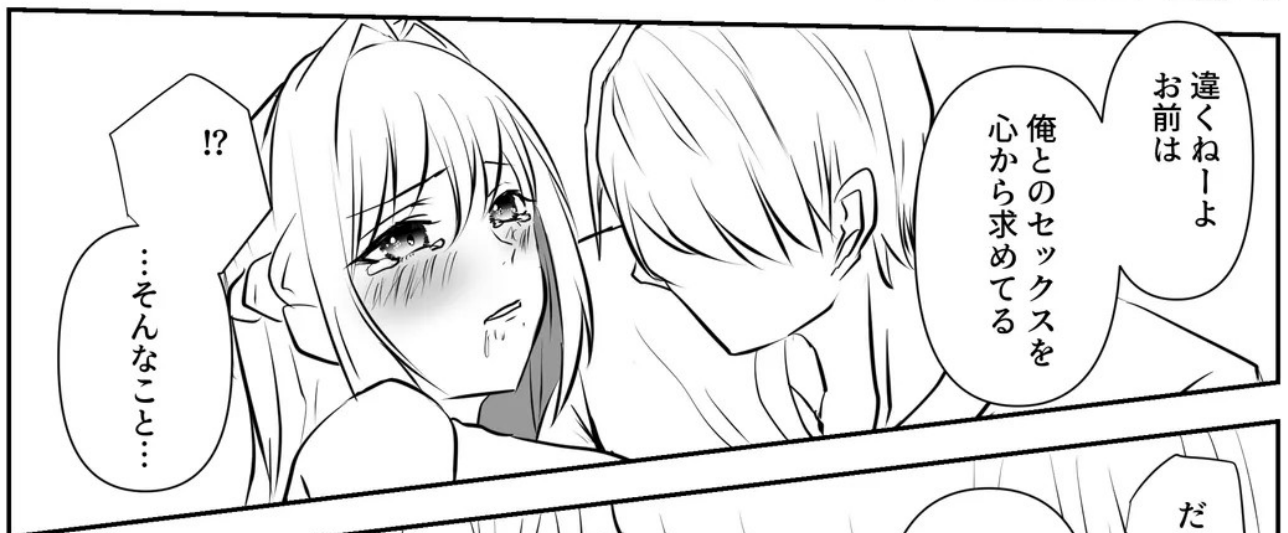
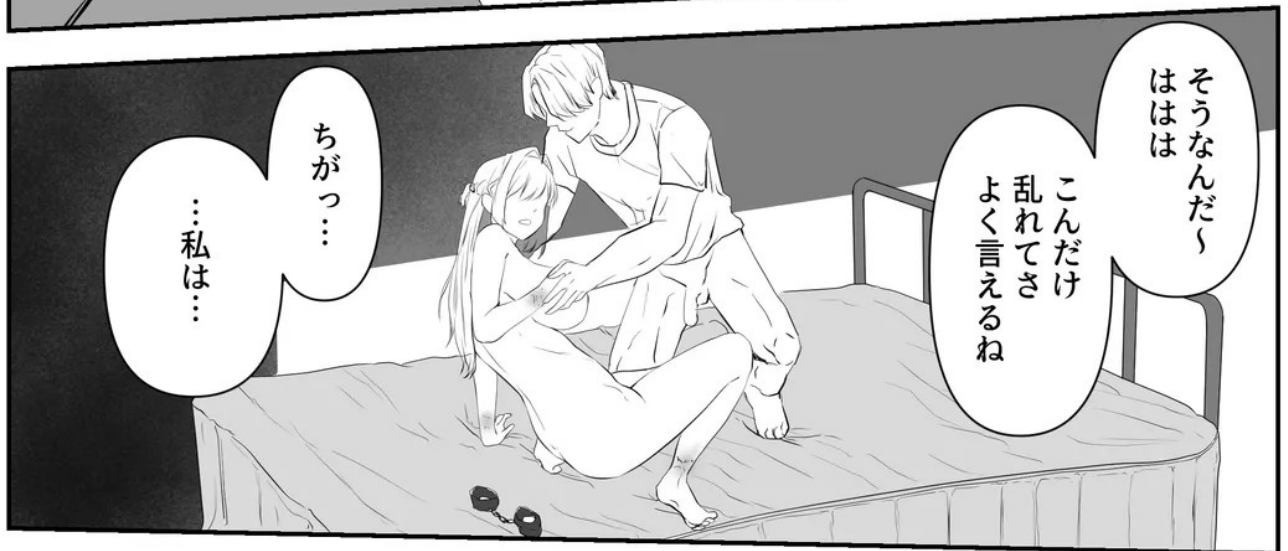
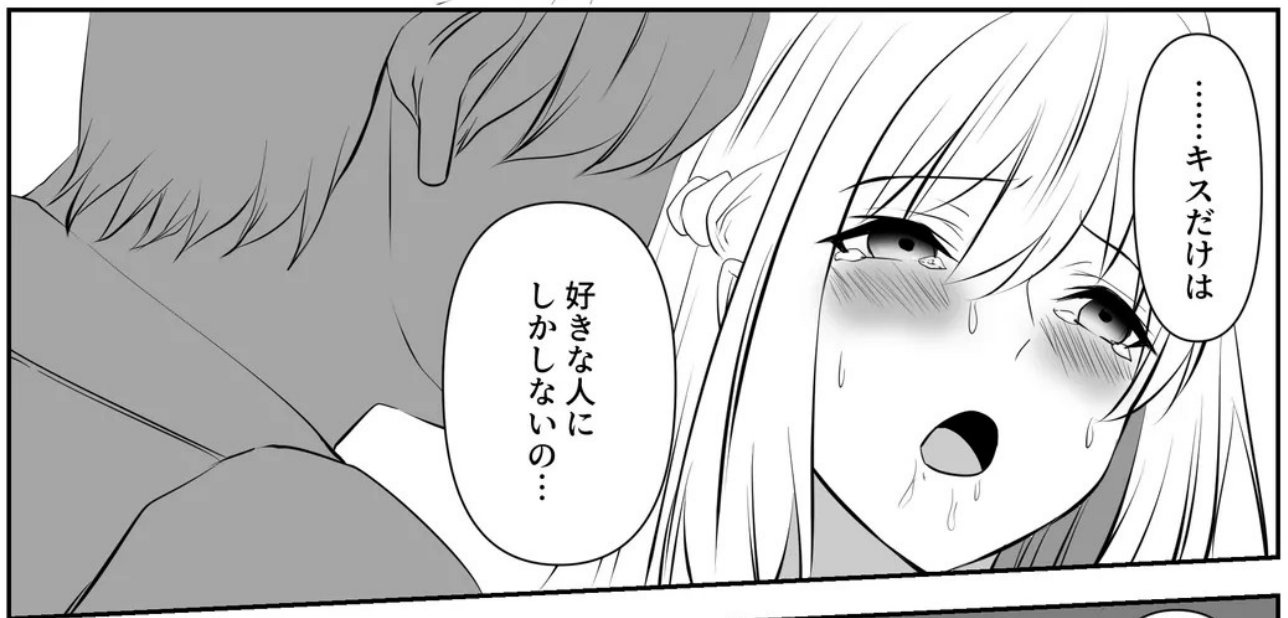


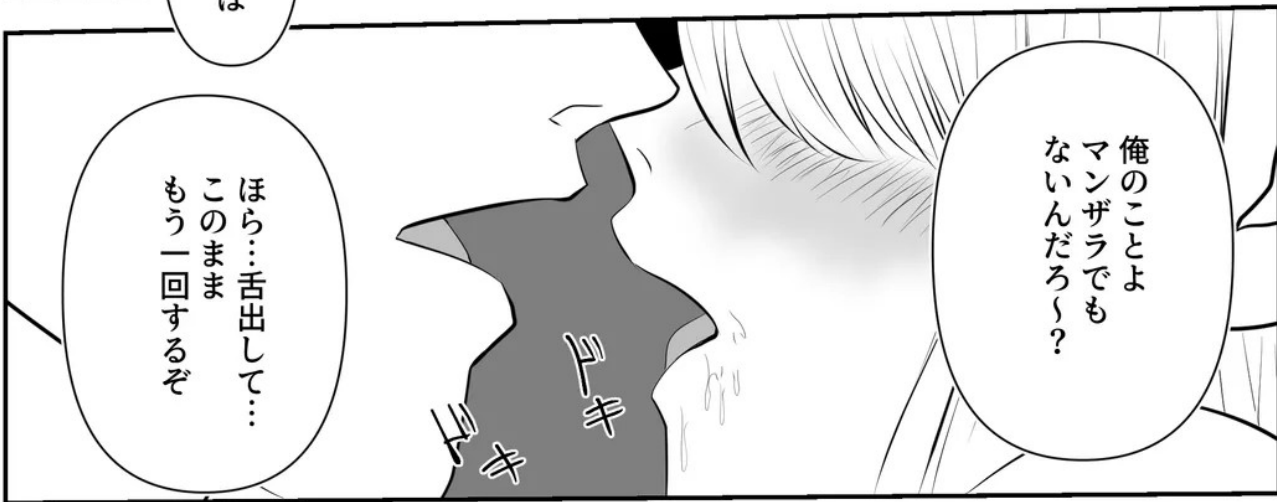
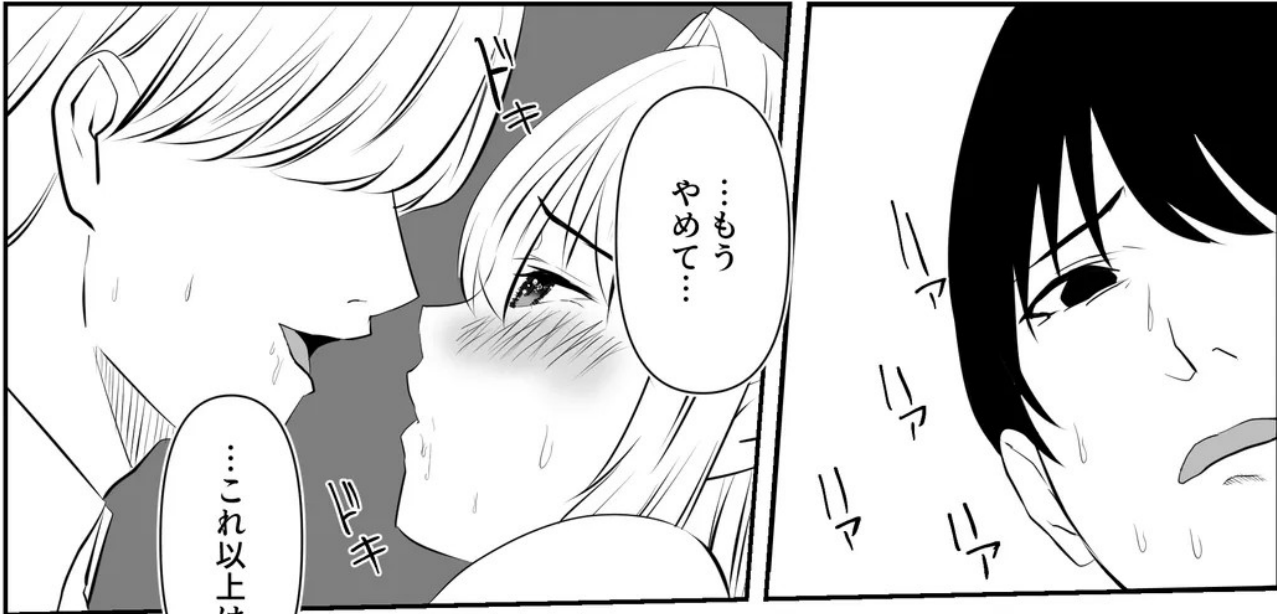
ただ…優秀なオスを喜ばせる
メス(獣)へと変えられていってしまう…

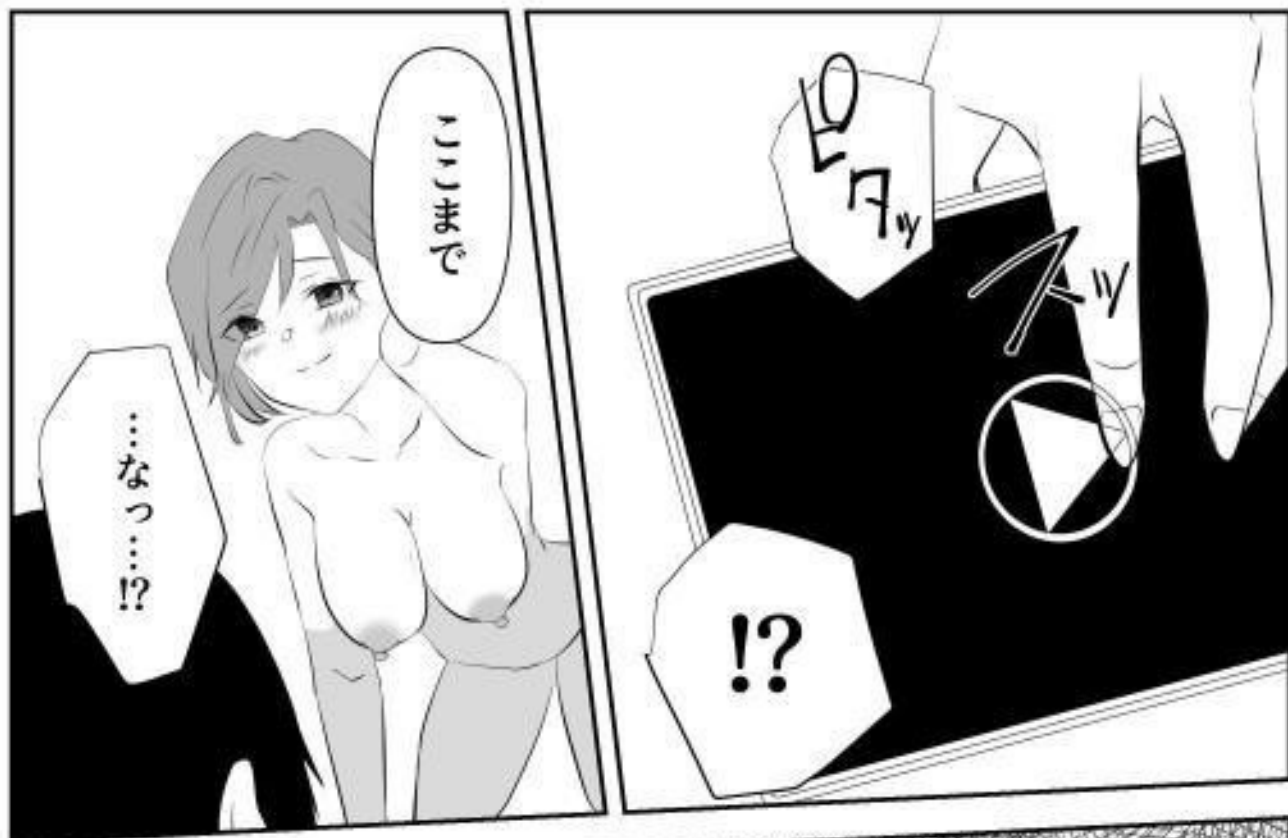
























美紀のだらしない
身体なんかより
私の方が上でしょ？

ほら
亮くんの好きなのは
どっちい？

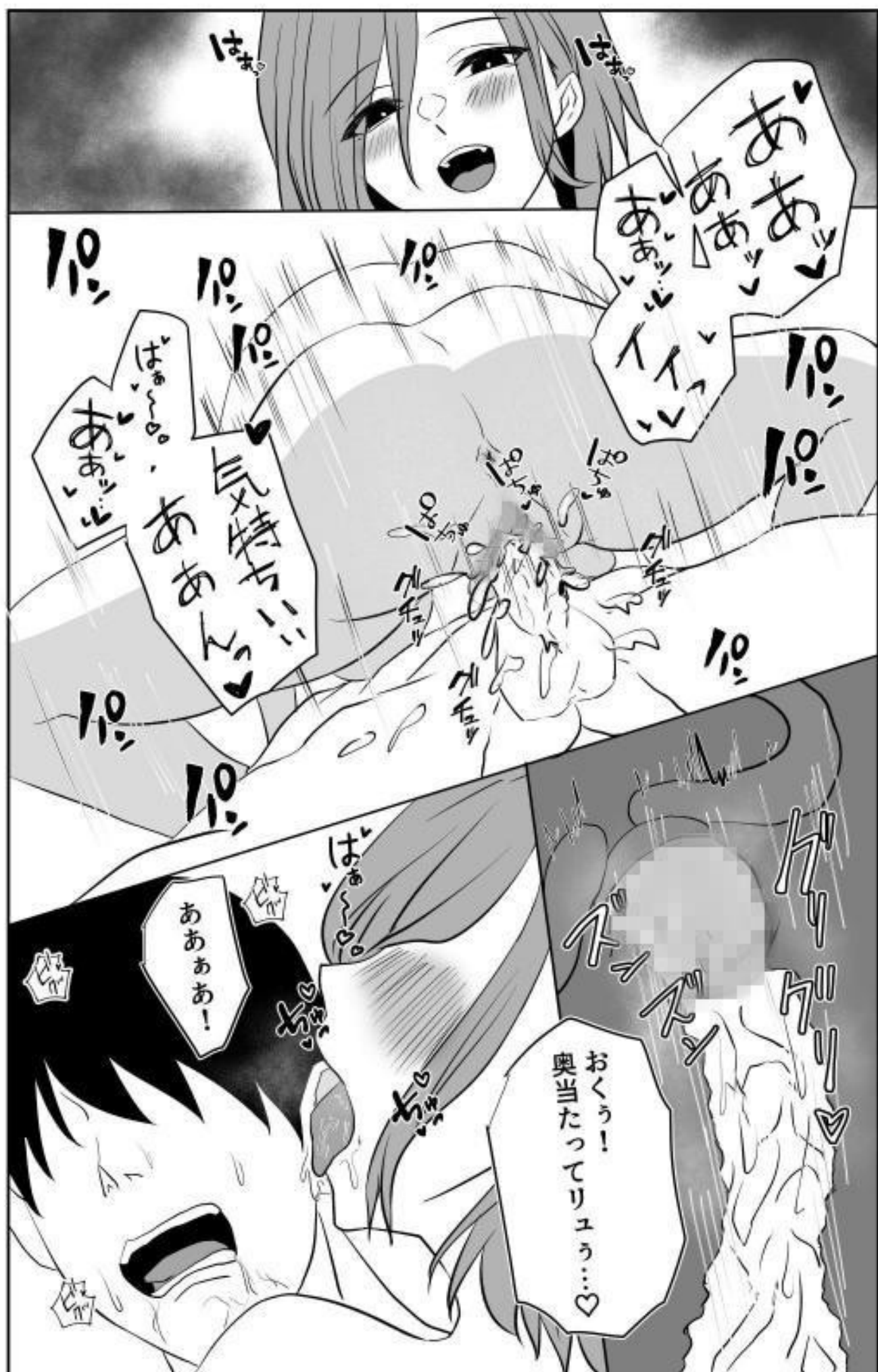




僕は越えてはいけな—線を越えた...











ねえ…？
亮くん

このまま

子宮にちょうだいっ…♡

あってはいけない

既に僕の
思考は

蕩け切っていた

うん♡
いいよ

出っ！
も…もうっ

ああっ！
ダメです！

私も
…イクっ

美紀以外の女性の中に出すなど…





な…なっ
なんで…?
い…いつからだ…?

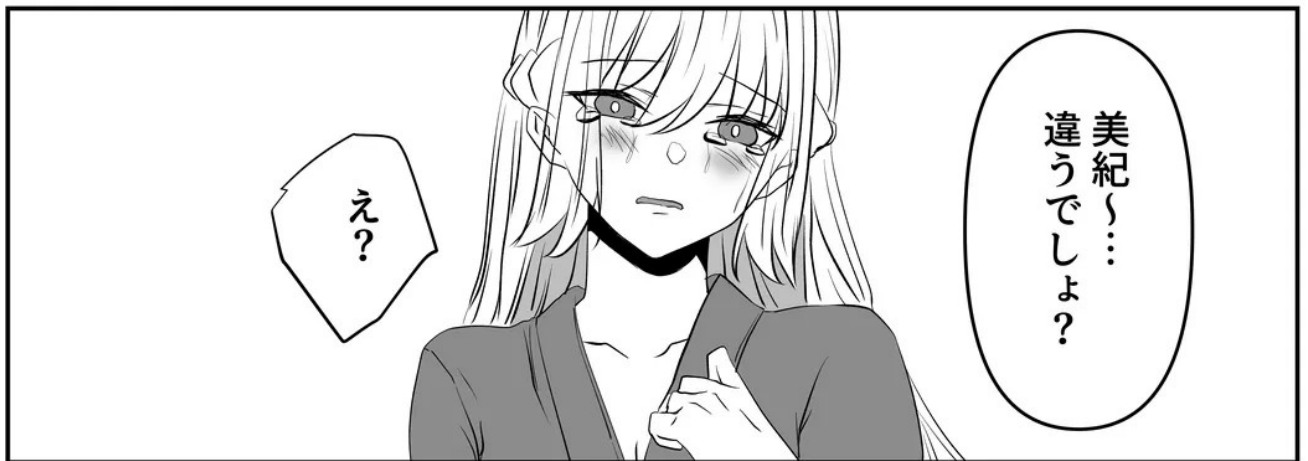
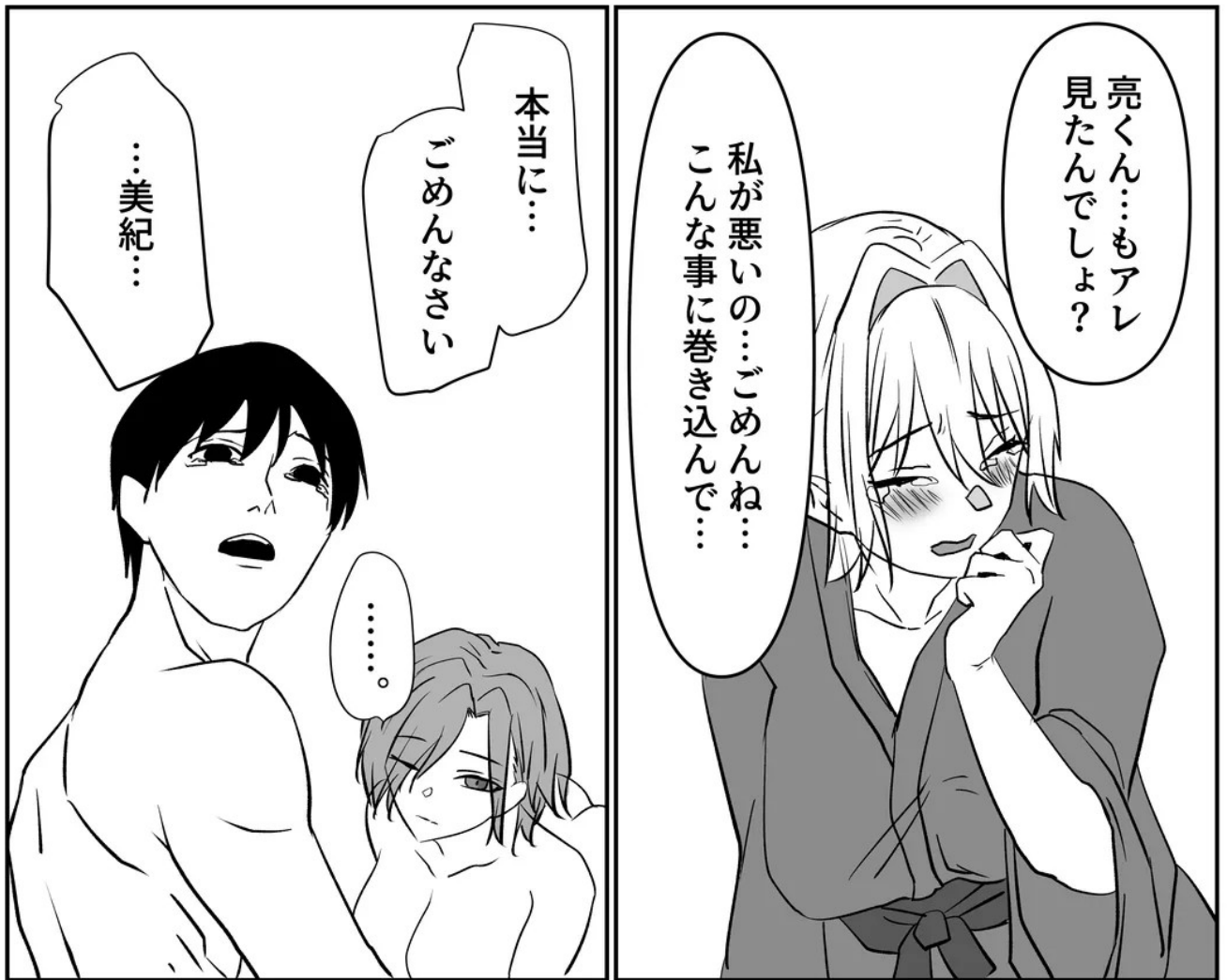
…美紀っ



ちゃんと
最初から
見てたよ



ごめんね







もっと……! もっと♡
赤ちゃんができるまで
いっぱい……♡

中に出してええ
えええええー!!



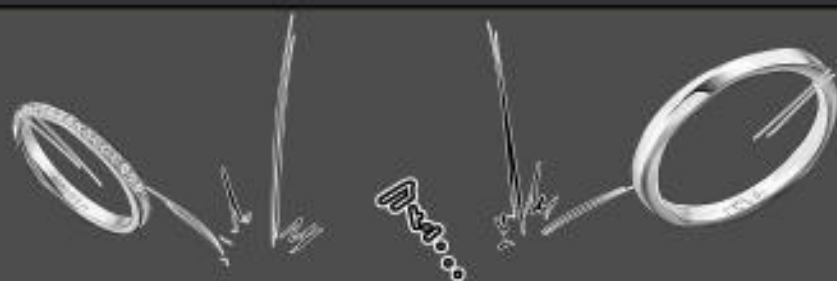
美紀の痴態の
数々を見て……何故……

大きくなって
いるんだ……!?





僕たちはもうー……………



… — 数日後 — …



瑞稀
良くやった。

お前は俺の一番の
お気に入りだからな。
後でたっぷり
可愛がってやるよ。

はい♡

櫻田
専務♡

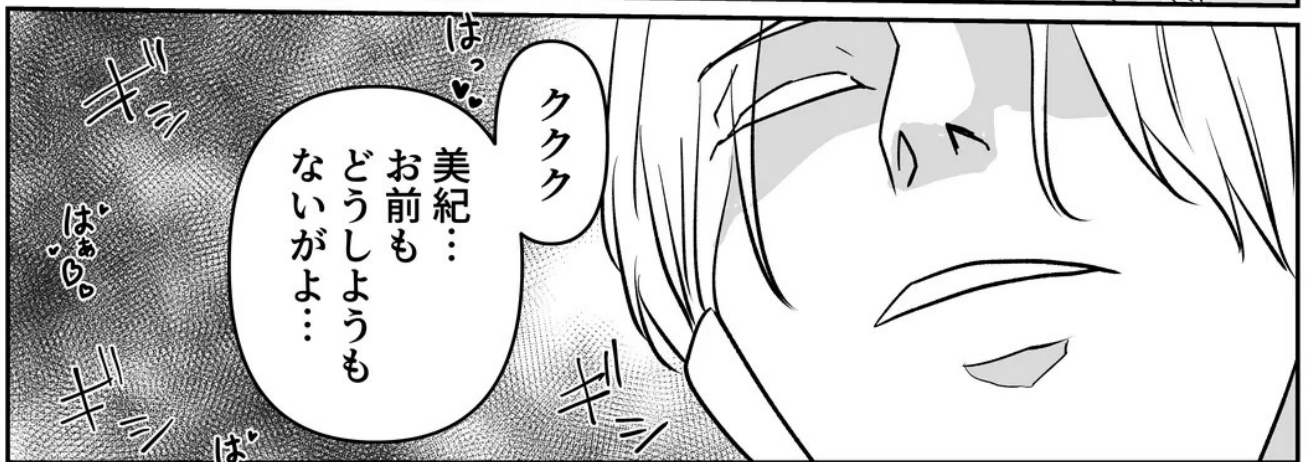


だがまずは
この豚を
寝けないとな♡

はっ♡
あぁ♡
あぁ♡
あぁ♡

また
イクッ！
あぁっ！

はっ♡
イクますっ
！！



ククク

はっ♡
美紀…
お前も
どうしようも
ないがよ…

はっ♡







